

# 研究所アドバンスドセミナー

院内職員のごなたでも来聴歓迎です

講師:

田代 啓 先生

京都府立医科大学・ゲノム医科学部門・教授

講演タイトル:

## 「医療の世界に入ってきたゲノム学」

概要:

2004年にヒトゲノム全塩基配列が決定されてヒトの「標準ゲノム配列」が作られたことにより、標準からのズレのある箇所が「変異」として一斉に同定された。一塩基変異は一塩基多型(SNP)とも呼ばれる。疾病の発症リスクや薬剤効果の個体差が生じるメカニズムは、先天寄与と後天寄与があるが、先天寄与は、多数のSNPの組み合わせで決まる。有病率が最大級の重要疾患である正常眼圧緑内障の発症リスクのゲノム解析研究で世界1位となった演者の研究のほか、昨今、拠点病院で開始されたがんゲノム医療など、医療の世界に入ってきたゲノム学について説明する。

日時:

令和5年7月18日(火)

17:00から

場所:

研究所6階 会議室

問い合わせ: 研究所 藤木 内線5402